



News Letter From Hachijo Town Assembly

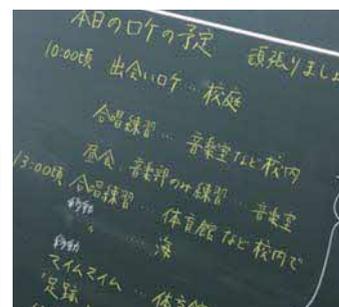
議会だよりは八丈町のホームページでもご覧いただけます

<http://www.town.hachijo.tokyo.jp/kakuka/gikai/gikaidayori.html>

映画・テレビのロケ受け入れ 八丈島フィルムコミッション



「24時間テレビ」のロケ風景です。
大賀郷中学校音楽部の生徒さんたちにご協力いただいた番組です。



CONTENTS

5G活用した遠隔画像診断も

令和4年度当初予算可決

- 2P 第一回定例会
- 3P 一般質問
- 9P 質疑より
- 10P 町民の声

八丈島フィルムコミッションは、八丈町や観光関連事業者などの各事業所と連携し、島をPRするために、映画やテレビ関係などの撮影を誘致するための受け入れ窓口です。主な活動内容は、撮影許可申請手続きのお手伝い(各行政機関との橋渡しなど)、撮影候補地となる場所の紹介・提案、そして島内で撮影に関わる方(取材先を含む)各方面でのスケジュール調整などです。島民の方々はもちろん、各行政機関の協力があるからこそ成り立つ仕事なので、今回の取材を通じて、八丈島フィルムコミッションの活動への理解がさらに深まれば幸いです。

(取材者：宮崎陽子)

第一回定例会

令和4年3月1、15、16、30日

5G活用した遠隔画像診断も

令和4年度当初予算可決

例年第一回定例会は、町長の施政方針（広報4月号に掲載）で始まります。今年度の新たな施策としては、5Gを活用した八丈病院と広尾病院間での遠隔画像診断、住民参加による中之郷公民館の建替えの検討を開始することが掲げられていました。

本年度当初予算は、一般会計97億9千万円、特別会計25億1千万円、公営企業会計37億7千万円です。大きな投資的事業としては、新クリーンセンターの本格的な建設に17億円、令和6年度完成予定の歴史民俗資料館の耐震改修工事や展示基本設計に3億5千万円、中之郷銚子の口ため池改修事業に1億円などが計上されています。コロナなどで不用額が発生した昨年度の予算額より増額されていますが、今年こそコロナが収束し、予定どおりに事業が進み予算が執行されることを期待します。しかしその一方で、物価高騰その他の理由により、入札不調が増えていることも懸案事項です。

3月いっぱいタクシ事業者が1軒廃業することを受け、介護・福祉タクシー、

観光での二次交通などの問題について議論が交わされました。かねてより大きな問題になっていましたが、なかなか前に進まないのが現状です。福祉担当も交通弱者の輸送について国と相談を重ねているとのこと。これを機に、関係各部署が民間事業者と連携していくとのこと。まずは八丈町独自の課題を把握するために、調査を行うとの報告がありました。また、すでに町行政側へのタブレット導入が決まっていますが、議会でも導入に向けて検討が始まります。これによって紙資源削減や情報共有の迅速化が期待されます。上記2つの課題については、今年度の議員視察のテーマになる予定です。

最終日には、築50年となる島しょ農林水産センター八丈事業所水産庁舎の再整備について、センター長より今年度は基本計画を策定するとの説明がありました。かねてから町議会として要望していたことが実を結びました。

(岩崎由美)

主な議決事項

3月定例会 令和4年3月1、15、16、30日

- ◎ 専決処分事項の報告及び承認について（令和3年度八丈町一般会計補正予算）
ほか専決処分2件
- ◎ 令和3年度八丈町一般会計補正予算
ほか補正予算7件
- ◎ 新八丈町クリーンセンター敷地造成工事請負契約の変更
ほか契約の変更2件
- ◎ 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- ◎ 東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約
- ◎ 令和4年度八丈町一般会計予算
ほか予算7件
- ◎ 職員の給与に関する条例等の一部を改正

する条例

ほか条例6件

- ◎ 末吉地域公会堂の指定管理者の指定について
- ◎ 八丈町過疎地域持続的発展計画の策定について
- ◎ 議員の派遣承認について（令和4年度東京都町村議会議員講演会）
ほか派遣承認3件
- ◎ ロシアによるウクライナへの侵略に断固抗議する決議について
- ◎ 八丈町辺地総合整備計画の策定について

主な会議事項

議会運営委員会

令和4年2月22日、3月11日

- ◎ 令和4年度第一回八丈町議会定例会について

一般質問

3月15日
質問者8人

3月定例会では、8名の議員が町政全般へ14項目にわたる一般質問を行いました。掲載した原稿は、質問議員が作成しています。なお、紙面の都合上、質問内容、回答ともに要約したものとなっておりますので、ご了承ください。

質問の録画映像はインターネットでもご覧いただけます。

<https://www.town.hachijo.tokyo.jp/kakuka/gikai/movie.html>



氏名	質問項目
宮崎陽子	1. 決算審査の活性化に向けて、予算審議を充実させるための決算関係資料である「行政評価シート」作成について 2. 八丈町過疎地域持続的発展計画、素案より、東京都が公開している発展方針素案「移住・定住」に関する「地域おこし協力隊」の活動について 3. 八丈町議会と町の執行部が共創する「ICT会議基準の構築とタブレット端末利用ルール化」によるデモテック宣言について 4. 「バリュー・フォー・マネー」を徹底した八丈町「無電柱化推進」における「町道」の刷新について
浅沼隆章	1. 水道事業の現状と持続可能性に向けた町の認識と方針について問う
金川孝幸	1. 観光地としての公衆トイレ整備について
山本忠志	1. 合併処理浄化槽の維持管理費の見直しを 2. 後継者育成のために町の支援の拡充を
冲山恵子	1. 坂上地域の町道・農道の草刈りは委託か
岩崎由美	1. 八丈島における国際交流員の役割は 2. 八丈病院の遠隔画像診断による実装内容の予定は 3. 学校部活動の地域移行についての、八丈町での検討は行われているか
山下則子	1. 保育園登園時の発熱について
山下巧	1. 過疎化する島の地方創生について



宮崎陽子議員

決算審査の活性化に向けて、予算審議を充実させるための決算関係資料である「行政評価シート」作成について

◎ 将来に向けた政策議論、予算審議を充実させるための重要課題。効率的な行政経営について「行政評価シート」作成に関する

今後の知見を問う。

☑ 企画財政課長 全国で導入が進んでいると認識している。事務事業などについては評価が必要なので先行事例を踏まえて検討する。

八丈町過疎地域持続的発展計画、素案より、東京都が公開している発展方針素案「移住・定住」に関する「地域おこし協力隊」の活動について

◎ 今後の新たな展開を問う。

☑ 企画財政課長 地域の活性化と定住定着

を図ることを目的としている。来年度は再エネ担当で1名採用予定。協力隊員の視点、発想などを活かした地域振興、活性化を期待している。

八丈町議会と町の執行部が共創する「ICT会議基準の構築とタブレット端末利用ルール化」によるデモテック宣言について

☑ 「八丈町議会初！オンライン行政視察」を1月に行った。タブレット導入の端末利用に関するルール化について、ICTに関する要望書を2019年11月、町の執行部へ提出。今後の方針を問う。

☑ 企画財政課長 課題など情報共有させていただくので、議会の中でも検討を進めていただきたい。

「バリュー・フォー・マネー」を徹底した八丈町「無電柱化推進」における「町道」の刷新について

☑ 東京都が令和5年度末まで延長した「無電柱化チャレンジ支援事業制度」がある。八丈町の町道の無電柱化について問う。

☑ 建設課長 今後、東京都が推進する東京都島しょ地域無電柱化整備計画に協力するとともに、都が推進する計画との整合性を考慮した上で慎重に、早急に検討する。

☑ 町長 50年の台風の際は電柱が倒れ車が通れなくなると聞いており、無電柱化は必要だと思う。大里地区には玉石垣があるので、東京都に無電柱化の要望をし実現にいたった。坂上も防災上考えてほしいと知



5月4日、大里地区で発生した交通事故で倒壊した電柱

事に申し上げた。景観も考慮して計画的にやっていきたい。



浅沼隆章議員

水道事業の現状と持続可能性に向けた町の認識と方針について問う

☑ 八丈町水道事業経営戦略で上げている令和2年度から令和11年の10年間で行う老朽管更新事業の進捗状況として約2年間経過するが、令和3年12月末時点水道管の整備は島全体で何%完了し、また未整備の水道管は何キロあり整備費用の概算は。

☑ 企業課長 簡易水道補助事業の更新計画では、合計15.5キロの更新を計画している。2年間で計3キロの19.5%更新が完了しており、未整備延長は約12.3キロとなっている。また、未整備老朽管更新の令和11年度までの事業費合計の見込みは、概算で24億700万円を見込んでいる。

☑ 東京都が指導して広域化推進プランを策定すると認識しているが、策定は進んでいるのか。

☑ 令和3年11月末時点として公表している全国の策定状況では、東京都は未着手となっている。町としては、東京都予算編成に対する要望事項として、「改正水道法に基づく水道基盤強化計画の早期策定及び都営水道一元化除外町村における一元化の実施等」について全島しょ町村で要望を行っている。

☑ 八丈町水道事業経営戦略によると経費削減を進めたうえで、料金改定の検討を進められている。また、令和2年度から令和11年度の10年間の総事業費は、6事業で約36億9000万円、うち町負担は約13億1790万円と示されている。実施しなければならない事業に多額の予算がかかる中、どのように検討していく予定なのか。

☑ 今後も都・国の補助事業を活用して、事業を進めなければならないと考えている。料金の改定については、人口減少などによ

設設備の更新なども含めて、具体的な検討を始めていきたいと考えている。



金川 孝幸 議員

観光地としての公衆トイレ整備について

1日3往復のジェット便が就航しているのは島民だけでなく観光のお客さんの利用が大きく貢献している。観光地として居心地のよい島にするために公衆トイレは重要であり整備について質問する。

問 公衆トイレは海岸には多く設置されているが偏りがある。特に三根の中心部や空港通りの大賀郷側に必要と思うが、設置しないか。

答 住民課長 三根の中心部は公民館などに設置している。空港通りの歩行者は少なくレンタカー利用者は空港にて容易に用を足せる。

問 町の財政が厳しいのは理解している。予算がないからつぐらないうで終わりにしないで、例えば民間の商店などと提携しお客さん以外でも遠慮なく使えるよう町で公に案内する代わりに定期的にトイレトペーパーを提供するなど検討しないか。

答 産業観光課長 コンビニと行政で提携した例はあり、民間利用については今後前向きに検討する。

問 島の公衆トイレは観光のお客さんにとってはわかりづらく、都でも設置しているので支庁とも協議し建物の色を統一するとか分かりやすいデザインにするなどの工夫は必要と思うが。

答 住民課長 さまざまな景観を配慮すると統一化は困難であるが、JISのピクトサイン（男女や車いすのマークなど）を使い、分かりやすくする。支庁とは情報交換し対応する。

問 町の公衆トイレの表記は様々で、公衆便所の表記や看板のないトイレもある。公衆便所の表記は観光地としてのイメージが悪

く、公衆トイレに統一し外国の方にもわかる工夫を。

答 町の条例は公衆便所になっているが表記ではトイレに統一する。外国の方はピクトサインで理解できるのでは。

問 公衆トイレのウォシュレット化は進んでなく、他に先駆け八丈島の公衆トイレをウォシュレット化すれば話題になり、マスクミだけでなく行政視察にも多く来るなど計り知れない効果が見込める。八丈町では前例のない施策に取り組んだ例は最近ないが町の職員に調査させるなど検討しないか。

答 ウォシュレット化は維持管理費がかさむ。話題性を求めて、先陣を切る考えはない。



山本 忠志 議員

合併処理浄化槽の維持管理費の見直しを

我が国では、平成13年に浄化槽法が改正され、合併処理浄化槽の普及に努めなければならなくなった。八丈町では補助制度を設けてはいるが、その維持管理費の個人負担分が重いため、設置に踏み切れない家庭もあるやに聞いている。浄化槽の普及のために質問する。

問 町の合併処理浄化槽の設置率と年間平均設置数は。

答 企業課長 令和4年3月1日現在、設置率は41.28%。また、過去10年間の設置数は年平均30基で、直近5年間では19基である。今後、使用料の改訂に向けた検討が必要と考えている。

問 維持管理費の負担を軽減できないか。

答 住民課長 個人負担額の減額という提言だが、現状は町の浄化槽使用料にともなうて、増減するという回答となる。

答 町長 浄化槽については、設置する場所や維持管理費の問題など普及が進まないさまざま事情があるが、種々の課題を踏まえバランスを見ながら設置を進める。

後継者育成のために町の支援の拡充を

問 現在、町の後継者不足が進んでおり、特に、島の伝統芸能や黄八丈織り、観光ガイドなどを引き継ぐ後継者の不足を憂慮している。今後は、町で進めている農業後継者対策事業の「育てる」という視点で、他の分野においても資格を備えた人ばかりではなく、後継者不足問題に取り組んではいかかか。

答 産業観光課長 黄八丈織りについては、町も黄八丈織物協同組合に補助しており、少しずつだが後継者が育っている。伝統芸能については、後継者育成のために関係者からヒヤリングしているところである。また観光ガイドについては、エコツアーガイド協会などの後継者育成に協力していく。

問 総務課長 後継者を確保するには「育てる」という意識も重要だが、職員の採用条件の一つとして資格を求めることは止むを得ないと考えている。



沖山 恵子 議員

坂上地域の町道・農道の草刈りは委託か

坂上3地域は自治会が町から各100万円をいただき、町道や農道の草刈りをしている。近年人口減少と高齢化の影響で、数人の働き手に負担がかかり、草を捨てるトラックや燃料の経費も増大し、各地域からやりきれない、金額を増やしてほしいなどの問題提起がある。しかし、町は増額をしたくなく、地域も完全に止めたいと言えない事情があり、ずるずると不満だけがつのってきた。今年の末吉自治会総会でもその話が出たところ、「町は草刈りを委託しているわけではなく、自治会活動に補助しているだけ」という話に聞こえた。今まで義務だと思っていた地域と、任意の活動とされている町の考え方が違うのではと感じた。

そこで伺う。

問 お金をいただき草刈りをする今の形ができた経緯は。

答 建設課長 昔から自治会で町道や農道の伐採清掃をしていたが、町道の伐採や清掃も行っていたことから、作業に使用する機械の燃料費を町が負担するようになった。

問 補助と委託のどちらか。

答 町と各自治会が、町道の伐採と清掃の契約を結んで行う委託事業で、金額は平成25年度から増額し120万円。質問にある100万円の補助は花いっぱい運動だ。

問 参加者が減り、働く人の負担が大きい。刈る場所を減らすことは可能か。

答 委託契約の対象となる町道を図面で契約しているの、変更がある場合は、協議の上で変更することは可能。実際実施が難しいという地区があることも承知しているが、坂上3地域の自治会長・副会長が構成する坂上地区自治会連絡協議会で昨年12月にこのまま継続の確認をしたと伺っている。今後本当に実施が難しくなった場合は、建設業者への委託も考える。

問 町道より草の多い農道整備の負担が大きい。農道は契約に含まれるのか。

答 農道は含まれない。

問 農道が契約に含まれないなら場所を減らしてもよいか。

答 自主的にボランティアでやってくださっていると理解している。



岩崎 由美 議員

八丈島における国際交流員の役割は

問 リトアニアから招聘することになった経緯は。

答 企画財政課長 国際化への対応が課題だったところ、リトアニア特命全権大使との縁があり招聘にいたった。

☒ 前任者の活動内容は。

☒ SNSを活用した八丈町のPR、外国人旅行者向けサイトの開設、リトアニア音楽学校生徒の招致、町資料の翻訳、放課後子どもプランでの交流、イベントへの参加など。

☒ アスタさんに期待することは。

☒ 異なる文化や価値観の理解を深め、新たな気づきや価値観が生まれることを期待している。コロナ禍で、人の移動をとまなう交流はむずかしいが、令和4年度の当初予算には活動経費50万円弱を計上し、アスタの意見を取り入れ新たな企画も進めていきたい。



「イースターの卵づくり」の様子。左がアスタさん

八丈病院の遠隔画像診断による実装内容の予定は

☒ これまでの遠隔画像診断における診療分野、実績の状況は。

☒ 病院事務長 実績は令和2年度1953件、令和3年度の2月までで1864件となっている。CTなどの画像をネットホスピタルの放射線読影医師に送り、診断結果を返してもらう。緊急へり搬送にも画像診断を使いやりとりしている。

☒ 器機の更新や実装実験内容、改善されることは何か。

☒ 内容は精査していないが内科が多く、その他は臨時診療、整形や耳鼻科。器機は一昨年更新済み。鳥しょ部全て更新完了。3月24日の実装実験については、八丈病院と広尾病院の間で5Gを活用して高精細な動画等のやり取りをリアルタイムで行い、双方の医師を交えて有効性を検証する予定。

学校部活動の地域移行についての、八丈町での検討は行われているか

☒ 学校部活動の地域移行について八丈町の検討内容は。

☒ 教育課長 文部科学省は働き方改革を踏まえ、休日の部活動指導を望まない教師の就労環境の構築を令和5年度以降段階的に地域に移行する方針を示している。これを受け、町では「教師の負担軽減のためのガイドライン」を策定し、各学校に周知している。顧問の教師が作成した計画を、学校長が現状に照らし合わせ、検討し、町の教育委員会に報告する体制になっている。地域との連携についてはコミュニティスクールと協働連携を図っていく。



山下則子 議員

保育園登園時の発熱について

☒ 町立保育園では、園児の預かりについて、「朝、受入時の検温で37.5度以上のお子様はお預かりできません」とパンフレットに書いてある。しかし、園児の中には平熱が37.5度以上の子どももいる。37.5度以上と規定されてしまうと、それだけで調子が悪いわけでもないのに保育園に通えず、保護者が仕事に出られなくなってしまう。せっかく保護者が社会貢献したくても子どもを預けられないのは、人手不足の八丈町にとってもったいないこと。37.5度以上という基準は、ウイルス感染発症の目安となっているためはずすことはできないと思うが、ただし書きなどの文言を用いて普段の体温が37.5度以上の子どもも通える保育園にしていきたいと考える。町の見解を伺う。

☒ 福祉健康課長 幼児の平熱が成人より0.5～0.6度ほど高いのは承知している。感染法上で「発熱」とされている37.5度以上という基準をはずすことはできないが、令和4年度の入園の冊子はすでに配布済なので、令和5年度の冊子にただし書きを加えるなど記載方法については検討する。子どもの元気なときの平熱を知っておくことは重要で、保護者と連絡を密にとり、個々の体調管理に柔軟に対応する。



山下 巧 議員

過疎化する島の地方創生について

令和の時代になり島の人口も7千人を割ろうとしている。少子高齢化は全国的なこととはいえ、残念ながら予測データのとおりに推移し今後も人口の減少は負のスパイラルとなり、このままでは歯止めがかからない。対応施策として担い手育成事業、地域おこし協力隊、移住定住サポートなど実績をあげてはいるが、単に生活人口を増やずに留まっている。島外からクリエイティブな人材アーティストを誘致し、ICT環境を駆使した持続可能なビジネスの島を目指さなければならない。豊かな自然環境の中でIT、デザイン、映像、音楽、エンジニア、プログラマーが島で起業し活躍することで、若者の雇用と新しい観光産業が期待される。そこで島で起業するビジネス拠点として住まいの情報は必要となる。

問 島内の空き家調査で、空き家は何件くらいあるか。

答 企画財政課長 空き家は目視で189件。そのうち11件が活用の意向ありで、登記は未確認。今後とも調査が必要。

問 空き家を町でリフォームし起業家に貸し与えられないか。

答 民間でもそのような事業を実施しているので、町では考えていない。

問 町所有の空き家は何件で管理と有効利用は。町所有の空き家を民間に委託または売却できないか。

答 町所有は2件、寄付によるもので草刈りなどはしている。利用方は未定。売却は内容により相談する。

問 人材アーティストの誘致活動、支援体制、企業誘致のアクションは。

答 誘致活動はしていない。支援体制は雇用拡充支援事業で、IT、デザイン、映像の申請はあった。企業誘致はしていないが、今後、事業所などの開設については相談にのっていく。

問 徳島では人口が八丈島より少ない里山に18市町村から84社もの企業誘致に成功している。地域・NPO・進出企業・行政でサテライトオフィスプロモーションチームを結成して誘致を展開。古民家を活用して光通信を整備した。八丈は努力が足りないと考ええる。

答 来年度は移住定住支援員を導入し、空き家調査を進めたうえでサテライトオフィスなども考えていきたい。

問 離島留学の来年度についてどのようになっているか。

答 教育課長 離島留学生の4年度は2名受け入れる準備をしている。

決議

3月16日の定例会では「ロシアによるウクライナへの侵略に断固抗議する決議」が賛成多数で可決された。

◎ ロシアによるウクライナへの侵略に断固抗議する決議

ロシア、プーチン政権のウクライナへの侵略は、国連憲章に違反し国際社会の平和と安全、秩序を著しく損なう暴挙であり、国連憲章を支持する日本国の地方議会としては、断じて許すことはできない。

ミサイルなどの爆撃により、多数の民間人を含む人々の命が奪われており、ウクライナに拠点を置く日本企業をはじめ現地在留邦人の生命も危ぶまれる事態である。

このような武力を背景にした一方的な現状変更は、武力の行使を禁ずる国際法の明白な違反であり、国際秩序の根幹を揺るがすもので看過できない。

八丈町議会は、ロシア軍の侵略に対し断固抗議する。そして、ウクライナへの侵略、軍事行動を直ちに中止し、部隊を撤収するよう求めるものである。

政府においては、現地在留邦人の安全確保に努め、国際社会と連携し、ロシアに対しての制裁措置の徹底及び強化を図り、あらゆる外交資源を駆使して、ウクライナの平和を取り戻すことを強く要請する。

以上、決議する。

質疑より

◎ 入札不調の原因は確認しているのか

金川 孝幸 議員 ポットホール散策路整備工事、大川浄水場も入札不調、今年度入札不調の案件が何件かある。この原因の確認はしているのか。

町長 コロナの影響で資材が高騰して、見積りをとっても2、3か月後にはそれに合わない金額になっている。今年は海も荒れていて工期の問題もあり、これら両方が重なって業者が受けきれない。人材も不足している。一番は入札時の単価と購入時の単価がどうなるだろうという不安から不調になっているというのが主な原因。

◎ 広報に死亡記事を掲載することについて



浅沼 憲春 副議長 広報に死亡記事を載せることはそんなに大変か。

企画財政課長 以前議会で要望があり検討した。両方の意見がある。タイムラグがある

ということもあるが、それでもぜひ載せてほしいという声が大きければ再度検討したい。

浅沼 憲春 副議長 大きな声とは署名を集めればいいのか、役場で話し合いをすればいいのか。載せるのは希望する方だけでいい。そういう意見がきている。ほかの島では載せているところもある。

企画財政課長 直接町に要望はきていない。住民の代表である議員の声は重く受け止め、再度検討する。

◎ 移住者への対応について

岩崎 由美 議員 島外の方が島に移住して最初に行くのが、住民課だと思うが、その時八丈に新しくやってきた人に対して歓迎する気持ちがあったら「ようこそ八丈島へ」の一言でいいので、そういったムード作りが大事だと思う。また、話をするのが苦手な人もいると思うが、そのときには書類を渡すときにメッセージカードがあったりというような心遣いなど何らかのリアクションはあるか。

住民課長 普段からおじやりやれという言葉はないと思うが、対応は適切にしている。言葉はなくても心はそういった形で承りたい。

◎ 方言について



廣江 才 議員 四大方言、琉球方言、アイヌ方言、八丈方言、本土語と4つある。八丈の三原の校長が「八丈の言語を子どもたちに復活させる。そういうことをやっている。」

と以前言っていたが、それはどうなのかと方言について疑問を持っていた。現実には方言はいろいろ変わっている。八丈の中で時代とともに変わっていて、それを子どもたちにこれが八丈方言だと教えることよりも、実際に八丈方言がどういう形で生まれてきたのかということ、また年代にもよるが、琉球語、アイヌ語、本土語との関連性を勉強させた方がよいのでは。

教育長 どうしても言語は時代とともになくなるものはある。残す云々ということの前に文化として大切だということを十分に子どもたちにもわかってもらい、願わくば子どもを通して話せない世代の保護者の方も挨拶程度は八丈方言でかわせるとか、消滅するのを鈍化させたい。学びについては年齢に応じてカリキュラムを定めている。文化的な経緯はどのように伝わってきたのかなどは、年齢とともに学べるようにしている。指導する都内からくる先生には専門家の研修がある。

◎ 5歳から11歳の新型コロナウイルスワクチン接種について

宮崎 陽子 議員 新型コロナウイルスワクチン接種の5歳から11歳の集団接種を文科省では推奨していないが、八丈町での現状は。

福祉健康課主幹 2回接種を予定していて1回目を4月2日、16日、2回目を4月23日、5月7日に設定している。対象の400名に予約の通知を出し、うち86名から申込みを受けている。強制ではなく、あくまでも保護者の希望で予約を受け付けている。12歳から17歳の接種日は5月14日以降の土曜日に設ける。

元地域おこし協力隊

みねおあすか
峯尾 明日香さん(33歳)

元地域おこし協力隊で活動していた峯尾明日香さんを
榎立の黄八丈会館に訪ね、お話しを伺いました。

Q 黄八丈会館に初めて入ったのですが、ここで黄八丈
を織っているのですか。

A はい、自宅で機織りができないので、黄八丈織物協同
組合の機織り機を借りて織っています。

Q 地域おこし協力隊の活動内容や、八丈島に定住しよ
うと思ったきっかけは。

A 機織りに興味があって応募し、2018年4月に着任し
ました。本場黄八丈担当として技術継承やイベントなど
でのPRが主な活動で、3年間活動し2021年3月に任
期満了で退任しました。移住してから機織りは天職だと
感じました。

Q どのような毎日をお過ごしですか。

A 専従の織子として仕事をしています。機織りは毎日6
～7時間、織りのほかにも整経、糸繰など染め以外の工程
の全部の作業があ
り、深夜まで作業
することもありま
す。分業ではなく、
染め以外の工程を
すべて一人で行う
ため、日々勉強だ
と思っています。
昨年度は目標にし
ていた20反を納
品することができ
ました。



明日香さんの趣味は中学生のころから続けている吹奏
楽(楽器はトロンボーン)で、最近韓国語の勉強も始めた
そう。1年間で20反も織るなんてすごいことだと感じま
した。「移住して本当によかったと思っています。」との一
言に、伝統工芸黄八丈の明るい未来が見えました。

(山下則子)

みんなのひみつ基地

代表 持丸沙代子さん(年齢ひみつ・三根)

離島の人口を増やし元気にしよう、という国の補助金
を活用してできたレンタルオフィス「みんなのひみつ基
地」は、会議室・キッズルーム・会話厳禁の勉強部屋・全
面ソファの休息室などさまざまな用途の部屋が並び、
利用者のことを考えたステキな場所です。町役場の紹介
で利用する方、島外の方もいるとか。代表の持丸沙代子さ
んにお話を伺いました。



Q この事業を創めた理由は。

A 夫と結婚する時、夫のよ
うな素敵な人を育んだ場所で子
育てをしたいと思い、島に嫁
ぎました。島はよい所ですが、
人口は減り、雨の日に行く場
所がなく、今はコロナの影響
で図書館で勉強することもで
きません。子どもを取り巻く環
境をよくしたい、私の子ども
が大きくなった時も持続する島
にするため、今なら間に合う
と、人口増加の移住定住や子
どもが集える場所作りに取
り組む事業を始めました。

Q 経営してみてどうでしたか。

A 自身もDIYに取り組むなど、
経費削減に努めたのですが、
補助金の3倍以上の経費がか
かりました。

Q 大変なことを頑張る理由は？

A 島の将来と子どもたちの未
来のため、八丈島における
さまざまな社会問題を解決
したいからです。

Q 利用料は。

A 子ども100円～、大人400
円～、両方ともにぎわって
います。受験勉強にも利用さ
れよい結果が出ました。

Q 継続できますか。

A 経営は厳しいですが、他の
事業を行い継続していける
ように努めます。利用者の
意見を取り入れ、使いやすく
日々改善して参ります。今
後カフェもやります。ぜひ
ご利用下さい。

HP <https://himitsukichi8jo.tokyo>

(沖山恵子)



【あとかぎ】

3月21日までの「新型コロナウ
イルス感染症まん延防止等重点措
置」も終わり、フリージアまつりや各種イベントが始ま
って島内が活気づいてきたように思います。3月26日
には、延期になっていた島民大学が開催され、リモートでは

ない生の湯川晃・涼子ご夫妻の講義や独唱、ピアノ演奏
を拝聴して心のリフレッシュができました。このままコ
ロナが収まり、何の気兼ねもなく旅行やイベントを楽し
める日が1日でも早く訪れることを祈る今日このごろ
です。

(山下則子)

発行人 八丈町議会議員 奥山幸子

編集 議会だより編集委員会 委員長 岩崎由美 委員 宮崎陽子 山下則子 沖山恵子

〒100-1498 東京都八丈島八丈町大賀郷 2551-2

tel 04996-2-2788 fax 04996-2-4437 メール gikai@town.hachijo.tokyo.jp

